

ANTHOCEPHO(A?)LUS属

CADAMBA WOOD / KADAMBA WOOD

『カダム ウツド』

- ①インドの**KADAMBA**王朝が大切にしていた木。
今でもKARAM-KADAMBAなる、お祭りが あるそう。
- ② **KADAMBA** Riyammanという、木の神が知られる。
- ③インドの物語『ギータ・ゴーヴィンダ』の一節↓
『ゴーパー/牛を飼い 搾乳を生業とする女性達が
禁を破り裸で水浴びしていると、クリシュナが
彼女達の服を**KADAMBA** の木の枝に引っかけた。
水浴びを終えたゴーパー達が、服がないことに
気付くと、クリシュナは枝を揺らして服の在処を
知らせ、禁を破ったことを大地に詫びるよう促し、
彼女たちが指示に従うと 服を返した。

程々に固く虫に喰われにくい為か、インド製の置物の材としてポピュラー。虫喰い・ヒビ・フシのある材は安いが、それらを目立たなくする為、色を塗る・模様をつける等すると お金がかかる。なので、無地と色・模様つきで値段が同じだったりも。一定以上 大きな材は、乾かす過程で必ずヒビ・歪みが発生する為、基本、大きな置物で無地は無い。